



JSQC ニュース

No.420

CONTENTS

- 1-トピックス 世界の「品質」が東京に集う！— ICQ2025開催
- 2-私の提言 30～40歳代会員の学会参加促進について
- 2-ルポルタージュ 第143回クオリティトークラボ
- 3-ANQ Congress Bengaluru 2025/教員公募/2025年3月の入会者紹介
- 4-行事案内

発行 一般社団法人 日本品質管理学会
 東京都杉並区高円寺南1-2-1 日本科学技術連盟東高円寺ビル内
 電話.03 (5378) 1506 FAX.03 (5378) 1507
 ホームページ:www.jsqc.org/

世界の「品質」が東京に集う！— ICQ2025開催

品質国際会議 (ICQ2025) 運営委員会 委員長/一般財団法人日本科学技術連盟 専務理事・事務局長 小野寺 将人

2025年9月、世界中の品質の叡智が東京・西新宿に集結します。それが、「品質国際会議 (International Conference on Quality:ICQ2025)」です。

ICQは1969年、東京での開催を機にスタートし、世界の品質三大団体ASQ (米国品質協会)、EOQ (欧州品質機構)、JUSE (日本科学技術連盟) とIAQ (国際品質アカデミー) が共同開催する世界最高峰の国際会議です。

前回の開催から11年。長らくの中断を経て、2025年、ついに日本に再びこの舞台が戻ってきます。

本会議は、学术界・産業界のリーダーが一堂に会し、最新の研究成果や実務経験を世界に共有する場です。

会議のテーマは「Quality Next」。品質の進化が未来を拓く。この言葉に、私たちの願いが込められています。

近年、品質は単なる製品やサービスの管理指標ではなく、社会的価値や顧客

客満足の創出に不可欠な経営資源として再定義されています。

その進化の最前線にあるのが今回のICQ2025です。

本会議には、トヨタ、コマツ、旭化成をはじめ、日本を代表する220社以上の企業の代表者が組織委員として名を連ね、各界の専門性と豊富なネットワークによって、開催を力強く支えています。

特別講演では、国内外の一流企業の経営層が登場し、変革をリードする現場の知見や戦略を直に学べる貴重な機会が用意されています。

また、口頭発表やポスター発表、パネル討議、企業訪問など、多彩なセッションが展開され、実務と研究の枠を超えた活発な対話が繰り広げられます。

さらに、特別企画セッションでは、デミング賞、サステナビリティ、サービスエクセレンス、品質の原点回帰から、世界の潮流など、時代に即したトピックが網羅されています。

参加者、約1,200名を予定。その半数以上が海外からの来場者であり、国際的な交流も大きな魅力のひとつです。

また、企業訪問や交流企画を通じ、国を越えた視点からの学びと出会いが得られます。

未来をつくるのは、「品質」であり「人」です。

日本品質管理学会の皆様にもぜひこの貴重な機会をご活用いただきたく、ご参加を心よりお願い申し上げます。

ご参加に際しては、早期申込が始まっております。

詳細は、公式サイトにてご確認いただけます。

世界とともに、品質の進化に貢献し続けるために。

ICQ2025でお会いできることを心より楽しみにしております。



[ICQ2025公式サイト]

<https://smartconf.jp/content/icq2025>

会期：2025年9月1日～4日

会場：ベルサール新宿グランド

品質国際会議 (ICQ2025) 事務局

icq@juse.or.jp

プログラム (予定)

	1日目 (9/1)	2日目 (9/2)	3日目 (9/3)	4日目 (9/4)
午前	10:00 - 12:00 プレカンファレンス	9:00 - 12:00 (総合セッション) オープニング、 基調・特別講演	9:00 - 12:00 口頭発表セッション 企画セッション	8:30 - 企業訪問 オブショナル
午後	13:00 - 17:00 プレカンファレンス	14:00 - 18:30 口頭発表セッション 特別企画セッション	13:00 - 16:30 口頭発表セッション 企画セッション	企業訪問 オブショナル 16:30 (終了)
夕方	17:30 - 19:30 ウェルカム レセプション		17:00 - 19:00 フェアウェル バンケット	

● 私の提言 ●

30～40歳代会員の学会参加促進について

富士フイルム(株) 松葉 且祥



学生時代のヤングサマーセミナーと夜の懇親会で議論した山田秀先生が会長就任されるため、10年ぶりに

2024年11月の年次大会に参加した。新旧会長講演では、会員数減少の報告や質疑がされていた。これに関して、久々の年次大会でいくつか感じたギャップがある。

①年代差ギャップ

20歳代の学生、50歳代以上の産業界の方は多かったが、私を含む30～40歳代の参加は少なかった。かく言う私も10年ぶりの参加となる。

②会社間ギャップ

例えば、デンソーさんは、前会長の若

林氏をはじめ、DN7 (DX版QC7つ道具)の活用事例発表や、復活するヤングサマーセミナーの会場に施設を提供される等、積極的に参加されていた。懇親会でお話したが、学会参加の意義や価値を見出して参加されていることが伺えた。

③学会に参加する方・しない方のギャップ

参加常連の方々は、発表会や懇親会でも同志のように熱く議論されていた。私の周辺の会員で、参加していない同僚や大学時代の友人らは、発表内容が現在の業務に関係なさそうだからと、参加していないように思われる。それゆえ退会する人もいる。私もその節があり、学会から遠ざかっていた。

④品質管理学会と他の学会・イベントとのギャップ

他の学会や講演会、解析ツール等の

イベントに行くことがあるが、①とは逆に、30～40歳代の参加者が多く、その場合は参加者同士のネットワーキングの要素が強い。発表者の内容に同調して議論が盛り上がる人、現在の業務の悩みを共有し共感する人など、同志を見つける場、ネットワーキングの場が存在する。私も過去に、非常に盛り上がり、その企業の方々とは何度か交流会を開催した。11月の年次大会では同年代の方が少なく、寂しさを感じた。

現在の年次大会は、特定の品質管理・統計解析手法や、医療・福祉等の特定の業界に関する発表が多いと感じるが、幽霊会員が多そうな、働き盛りの30～40歳代の困りごとや悩みを共有・議論できる場、ネットワーキングできる場がもっとあってもよいと思う。その困り事をユーザーニーズとして吸い上げ、解決手段を提供・議論していける学会であって欲しい。かく言う私も、2年前に代議員を拝命したが、こういった活動の一翼が担えればと思う。

第143回
クオリティーク
ルポサービスエクセレンス
規格をどう使うか

2024年10月22日(火)に第143回クオリティークがオンラインで開催された。「サービスエクセレンス規格をどう使うか～マインドセット変革と現状分析(危機感の醸成・萌芽的ビジネス活動の特定)～」をテーマに、東京大学統括プロジェクト機構の水流聡子先生にご講演いただいた。

本トークでは、サービスエクセレンス規格の紹介だけでなく、サービスエクセレンスの初歩的な知識や日本型標準加速化モデルなどの解説があり、さまざまな内容が凝縮されていた。

サービスエクセレンスを一言で言い表すと、顧客の期待を超える強い感情である「カスタマーデライト」につながる卓越した顧客体験を実現する「エクセレントサービス」を一貫して提供するためには、「サービスエクセレンス」という組織能力を必要とする、ということである。顧客満足度だけでなく、カスタマーデラ

イトを含めて考えていかないと、顧客ロイヤルティを生み出すことができず、中長期的な成功に結びつかないということである。カスタマーデライトの議論にて狩野モデルの魅力的品質が引用されているが、議論の根底にあるのは「おもてなし文化」に代表される日本が長年培ってきた考え方である。そのように考えると、欧米の企業より日本の企業が積極的にサービスエクセレンス規格に取り組みべきではないかと感じた。

また、組織を変革するためのアプローチでは、ジョン・P・コッターの変革の8段階プロセスに基づいて説明された。組織能力を構築するためには、マインドセットを変革することを必要とするが、最初に危機感の醸成からはじまる。変革主導チームを築き、ビジョンと戦略を生み出し、短期的な成果を実現する。その成果を活かして、さらなる変革を推進する。以上の段階を順に進めることが重要である。

サービス業に限らず、さまざまな産業界の方々サービスエクセレンスに関心をもって本トークに参加していたことには大変驚かされた。

佐々木 一仁 (インフォコム(株))

ANQ Congress Bengaluru 2025

2025年11月3日(月)～7日(金)にインド ベンガルールにて、ANQ Congress 2025が開催されます。

テーマ：Quality Innovations Forging a Path to a Sustainable Future - Powered by Asian Synergy

会場：M. S. Ramaiah University of Applied Sciences

JSQCからの発表希望者はアブストラクトやフルペーパーのファイルをJSQCに提出するだけでなく、ANQ2025の主催団体であるISQ (Indian Society for Quality) のウェブサイトでも提出する必要があります (提出先・期限など詳細はJSQCホームページを参照してください)。

審査用要旨：A4・2ページ、英語または日本語

発表申込み締切：2025年5月30日(金)

詳細につきましては、JSQCホームページをご確認ください。

https://jsqc.org/anq_2025/

2025年3月の入会者紹介

2025年3月26日の理事会において、下記の通り正会員14名、準会員9名、職域会員1名、賛助職域会員1名、賛助会員1社1口の入会が承認されました。

.....
(正会員14名) ○壬生 裕史(PEGASUS)
 ○田邊 賢哉(アイテック阪急阪神)
 ○永山 飛鳥(日産自動車) ○菅野 靖夫(プロテリアル) ○椎野 隆士(三井ハイテック) ○庄司 菜穂子・高武 康介(東陽テクニカ) ○広瀬 栄吾(積水化学工業) ○番場 友恵(東陽理化学研究所) ○遠藤 友貴哉(遠藤メソッド) ○高田 正彬(東芝) ○清 建樹(京セラ) ○北川 昭浩(北川技術士オフィス) ○穂積 讓二(パナソニックカーエレクトロニクス)

.....
(準会員9名) ○小山 佳哲(名古屋工業大学) ○西山 歩(中央大学) ○平野 駿介・福田 竜也・千野 颯也(電気通信大学) ○安倍 幹人・神田 陽向・大澤 紘人(慶應義塾大学) ○坂本 歩途(早稲田大学)

.....
(職域会員1名)

○佐竹 清良(ソディック)

.....
(賛助職域会員1名) ○丸野 大輔(四国化成ホールディングス)

教員公募

慶應義塾大学 理工学部管理工学科

募集人員 助教(有期)1名
所属 慶應義塾大学 理工学部 管理工学科
 慶應義塾大学大学院 理工学研究科 開放環境科学専攻(オープンシステムマネジメント専修)
専門分野 経営工学、管理工学分野の理論と実践に興味があり、インダストリアルエンジニアリングに関わる実験、演習を意欲的に進める人材を求める
担当科目 管理工学に関連する実験、演習科目(インダストリアルエンジニアリング、工学基礎)を主に担当する。これらの科目は、日本語で開講される。
着任時期 2026年4月1日
応募締切 2025年6月30日(月)必着
詳細 慶應義塾大学 教員公募
https://www.st.keio.ac.jp/corporations/recruit/20250306_50.html
 jREC-IN Portal
<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?id=D125030858>

近畿大学 理工学部機械工学科 データサイエンス分野

募集人員 准教授または講師1名
所属 近畿大学理工学部機械工学科
専門分野 専門分野は広い意味でのデータサイエンスですが、機械工学科のものづくり技術に関連する研究を積極的に取り組んで頂ける人材を募集します
担当科目 理工学部機械工学科の確率・統計、プログラミング実習、ものづくりに関連する演習実験、実習科目等
着任時期 2026年4月1日
応募締切 2025年6月1日(日)必着
詳細 jREC-IN Portal
<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?id=D125031483>

.....
(賛助会員1社1口)

○アルテリックス・ジャパン

.....
名誉会員：25名

正会員：1547名

準会員：53名

職域会員：48名

賛助職域会員：12名

公共会員：11口

賛助会員：163社232口

行事案内

●第137回研究発表会（本部）

日 時：2025年5月24日(土)10:00～19:15

会 場：日科技連・東高円寺ビル

プログラム：

10:05～10:55

チュートリアルセッションA

「実験計画法の活かし方ー技術開発で成功する秘訣ー」

角谷 幹彦 氏（アイシン）

11:00～11:50

チュートリアルセッションB

「AI観点を取り入れたリスクアセスメント手法」

中神 徹也 氏（デンソー）

13:00～17:30 研究発表会（4会場）

17:40～19:15 情報交換会 優秀発表表彰

申込締切：2025年5月16日(金)

詳細・申込：https://jsqc.org/137technical/

●第147回QCサロン（関西）

テーマ：方針管理の基本

講演者：猪原 正守 氏（大阪電気通信大学）

日 時：2025年6月10日(火)19:00～20:30

会 場：オンライン(Zoomミーティング)

詳細・申込：https://jsqc.org/147qcsalon/

●第450回事業所見学会（東日本）

テーマ：「誠実努力」「創造と挑戦」の歴史とこれから

日 時：2025年6月12日(木)13:30～17:20

見学先：セイコーエプソン（長野県諏訪市）

定 員：30名

※同業他社のお申し込みはご遠慮ください。

詳細・申込：https://jsqc.org/450visit/

●第451回事業所見学会（東日本）

テーマ：～Shiseido Beauty Park（横浜）で、香りと触感の世界を体感してみませんか？～感性にまつわる品質「嗅覚・触覚の感性」

日 時：2025年6月20日(金)13:30～16:30

見学先：資生堂グローバルイノベーションセンター（神奈川県横浜市）

定 員：25名

詳細・申込：https://jsqc.org/451visit/

●第155回講演会（関西）

テーマ：品質保証と人材育成への取り組み

日 時：2025年7月1日(火)13:30～16:45

会 場：日科技連 大阪事務所内 研修室
およびオンライン(Zoomミーティング)

プログラム：

講演（1）調達品質確保のための
人材づくりと仕掛けづくり

鱈谷 佳和 氏（元 村田製作所）

講演（2）“廉価・汎用・横展開”内製
DX技術を使ったお取引様との協創
活動～成果の秘訣は“一緒に考える”、
“自己成長”、“現場からの感謝”～

茨木 康充 氏（ヤマハ発動機）

内田 晴久 氏（ヤマハ発動機）

詳細・申込：https://jsqc.org/155lecture/

●第147回クオリティトーク（東日本）

テーマ：品質不正はなぜ起こるのか

ー安全と機能だけでなく、安心
と信頼性を提供するためにー

ゲスト：古字 朗人 氏

（SOMPOリスクマネジメント）

安藤 悟空 氏

（SOMPOリスクマネジメント）

日 時：2025年7月4日(金)13:00～15:30

会 場：オンライン(Zoomミーティング)

詳細・申込：https://jsqc.org/147qtalk/

●第452回事業所見学会（東日本）

テーマ：アイリスオーヤマの理念を学ぶ
ーユーザーイン発想のモノづ
くりによる市場創造に向けた
品質管理のあり方についてー

日 時：2025年7月25日(金)13:00～16:30

見学先：アイリスオーヤマ角田工場

（宮城県角田市）

定 員：30名

※同業他社のお申し込みはご遠慮ください。

詳細・申込：https://jsqc.org/452visit/

●第138回研究発表会（中部）

日 程：2025年8月27日(水)

会 場：名古屋工業大学

(1) 申込期限

発表申込締切：5月30日(金)

予稿原稿締切：7月18日(金)必着

参加申込締切：8月20日(水)

(2) 研究発表・事例発表の詳細・申込方法

https://jsqc.org/138technical/

(3) 参加申込

7月上旬にホームページにてご案内します

●第139回研究発表会（関西）

日 程：2025年9月9日(火)

会 場：関西学院大学 大阪梅田キャンパス

(1) 申込期限

発表申込締切：7月29日(火)

予稿原稿締切：8月26日(火)必着

(2) 研究発表・事例発表の詳細・申込方法

https://jsqc.org/139technical_cfp/

(3) 参加申込

参加申込締切：9月7日(日)

詳細・申込：https://jsqc.org/139technical/

●第22回ヤングサマーセミナー

日 程：2025年9月17日(水)～18日(木)

会 場：デンソーグローバル研修センター

「AQUAWINGS」(静岡県浜松市)

参加資格：原則35才以下

詳細・申込：https://jsqc.org/22ysss/

●（予告）第55回年次大会（本部）

日 程：2025年11月14日(金)・15日(土)

会 場：京都大学 吉田キャンパス ほか

事務局

JSQCホームページ：https://jsqc.org/

本 部：〒166-0003

東京都杉並区高円寺南1-2-1

日本科学技術連盟東高円寺ビル内

E-mail：jimukyoku@jsqc.org

TEL：03-5378-1506

FAX：03-5378-1507

中部支部：〒460-0008

名古屋市中区栄2-6-1

RT白川ビル7階

日本規格協会名古屋支部内

E-mail：nagoya51@jsa.or.jp

TEL：050-1742-6188

FAX：050-3535-8675

関西支部：〒530-0003

大阪市北区堂島2-4-27

JRWD堂島タワー11階

日本科学技術連盟大阪事務所内

E-mail：kansai@jsqc.org

TEL：06-6341-4627

FAX：06-6341-4615